

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: いすみ市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

| ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む) |
|--------------------|--|--|-------------------------------|---|---|
| 小湊鐵道(株) いすみ循環-1 | 市役所大原庁舎～長者町駅～ いすみ医療センター～市役所 大原庁舎 | 前回の評価、平成30年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員の助言として、公共交通の周知の重要性を指摘されたのをうけ、市広報紙への広報記事掲載や時刻表の全戸配布など、住民に対して改めて公共交通の存在を周知した。 また同様に指摘事項にあった運行ルートやダイヤ等の利便性向上策の検討・促進についても、住民からの要望やJR・いすみ鉄道のダイヤ改正を考慮し、事業者と協議しながら検討を行った(R1.11.1に経路変更・ダイヤ改正を実施)。 | A 計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。 | A 補助対象期間(平成30年10月から令和元年9月)の利用目標20,000人のところ、実績は22,943人(うち75歳以上無料パスポート使用者が10,567人)という結果となった。 効果達成状況としては、利用者数が前対象期間実績と比べ約2,500人増、75歳以上無料パスポート利用者は約3,600人増と、新たな利用者の開拓に成功しており、高齢者ドライバーの事故抑制につながっている。 | 交通弱者(高齢ドライバー等)への公共交通の周知が図られ、利用者が増加している一方で、それ以外の利用者数が伸びず、収支率は悪化している。 今後は高齢者の利用促進を引き続き行っていくと同時に、若年層(観光客等も含む)の需要を掘り起こすような調査・啓発・施策が肝要と考えられるので、違った観点から検討していきたい。 |
| 小湊鐵道(株) いすみ循環-2 | 市役所大原庁舎～長者町駅～ 房信夷隅町支店前 | | A 計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。 | | |
| 小湊鐵道(株) いすみ循環-3 | 市役所夷隅庁舎前～下布施～ 市役所大原庁舎 | | A 計画に位置付けられた事業は適切に実施されている。 | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

| | |
|-----------------------------|--|
| 協議会名: | いすみ地域公共交通活性化協議会 |
| 評価対象事業名: | 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 |
| 地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性) | <p>バス交通に関しては、交通空白地帯の解消と交通弱者対策に対応するため、JRやいすみ鉄道など民間交通機関との接続の配慮など利便性の向上を図りながら運行を継続してきているところであるが、運行には多額の経費を要しており、路線の維持存続は課題となっている。</p> <p>今後も市民が将来にわたって安心して暮らせる生活環境の確立と、地域経済力の向上に資することを目的に、地域公共交通確保維持改善事業を活用することにより、今後も行政負担を軽減しつつ、継続的なバス運行の維持・確保を図っていく必要がある。</p> |